留学だより

新河端病院　伊丹　康夫（平成21年入局）

2009年入局の伊丹康夫です。2016年4月より2018年3月末までアメリカのカリフォルニア州ロングビーチにあるOrthopaedic Biomechanics Laboratory（Long Beach VA Healthcare System, and University of California, Irvine）に留学させていただきました。貴重な経験をする機会を与えてくださった根尾教授、三幡先生ならびに教室、同門の先生方に厚く御礼申し上げます。

2年目は任せてもらえる仕事の量が増え、忙しいながらも充実した日々を過ごすことができました。研究室には韓国やスイスからの留学生が在籍し、さまざまな研究に参加させていただきました。僕自身はメインテーマとして投球動作における肩甲骨の位置異常が肘外反負荷に与える影響を調査しました。肩甲骨内旋の増加により肘内側側副靭帯損傷のリスクが高まることが示唆され、臨床のイメージに合致する結果でありました。留学の成果として論文がacceptされるようにしっかりしていきたいと思います。在籍するメンバーの実験だけではなく、他施設との共同研究も多くありました。Kerlan-Jobe clinic、University of Southern California、Columbia universityなどのアメリカ国内の施設だけではなく、韓国やブラジルなどの先生方とも一緒に実験をさせていただきました。医療制度や研修制度の違いなども聞くことができ、興味深かったです。

プライベートにおいても貴重な経験をさせていただきました。サンフランシスコやヨセミテ国立公園などへの観光やMLB、NBA、NHLなどのスポーツ観戦などが特に印象に残っています。アイスホッケー観戦は初めてでしたが、何度もパックを見失うほど攻守の入れ替えが速く、非常に面白かったです。研究室においても、レクリエーションの一環として週2～3回Thay Q Lee教授を含めた6名程でAM6：00からバスケットボールをしていました。スポーツ推薦で大学に進学した医学生やレジデントもおり、圧倒的な身体能力で打ち負かされることがしばしばありましたが、いい気分転換になりました。レクリエーション参加することで仕事上のコミュニケーションが図りやすくなることを実感させてもらいました。

臨床から4年間離れていたため、ご迷惑をおかけすることが多いと思います。まずは新河端病院で早く信頼してもらえるように頑張っていこうと思います。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

送別会にて
左からMichelle H. McGarryさん、私、Thay Q Lee教授